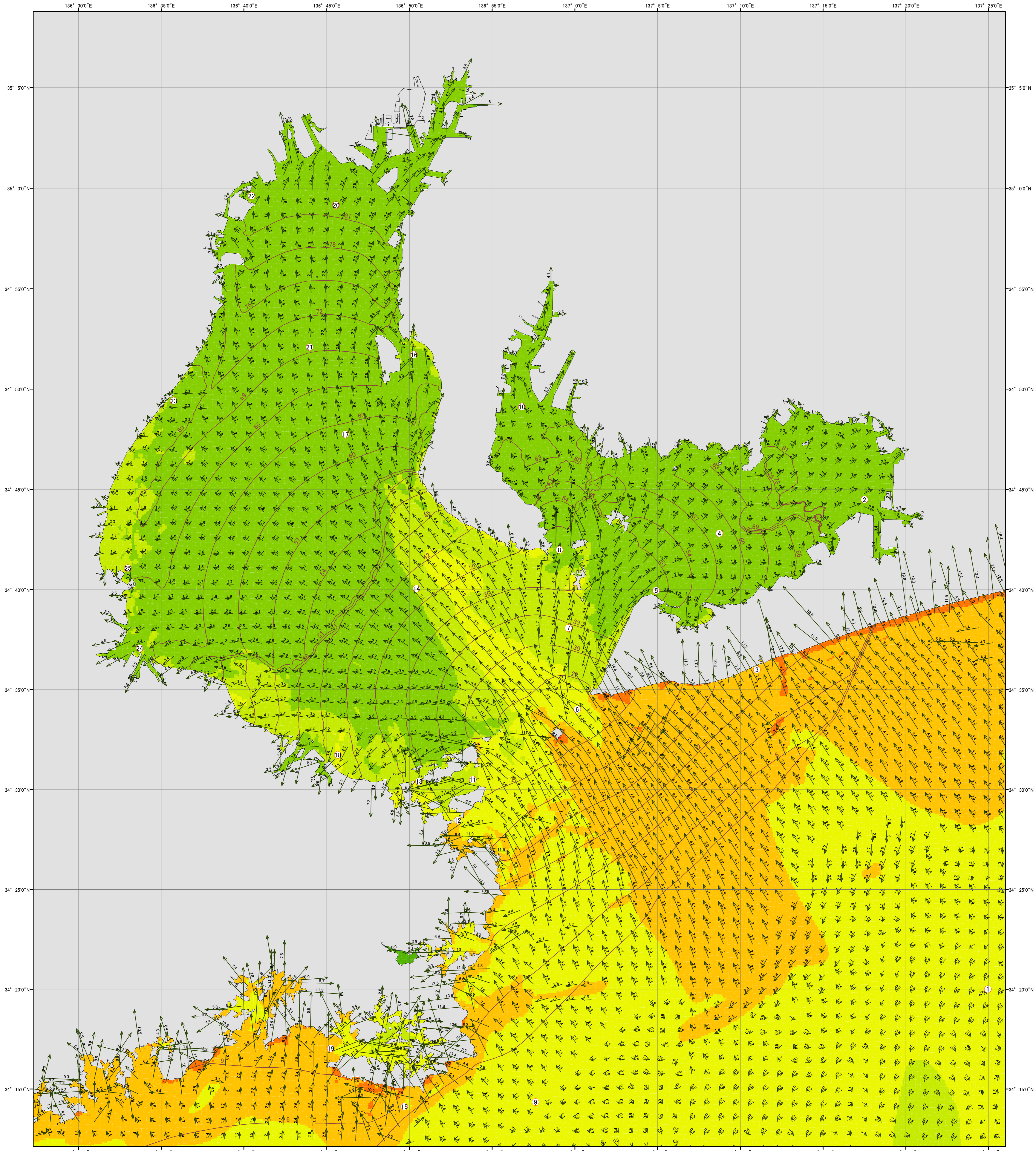


# 伊勢湾 広域津波防災情報図 (進入図)

計算条件： 最高水面（零位）  
 隆起量： 平均 -16cm (-149cm ~ 253cm)  
 Zo： 1.10~1.40m  
 備考： 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



## 凡例

— 水位上昇(+10cm)となる等時線[分]

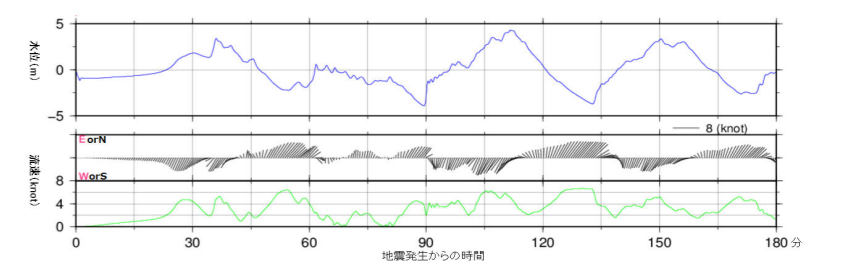
最大水位上昇



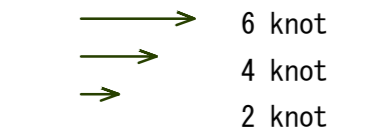
○ 経時変化図出力点

(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

(例) 水位・流向・流速経時変化図

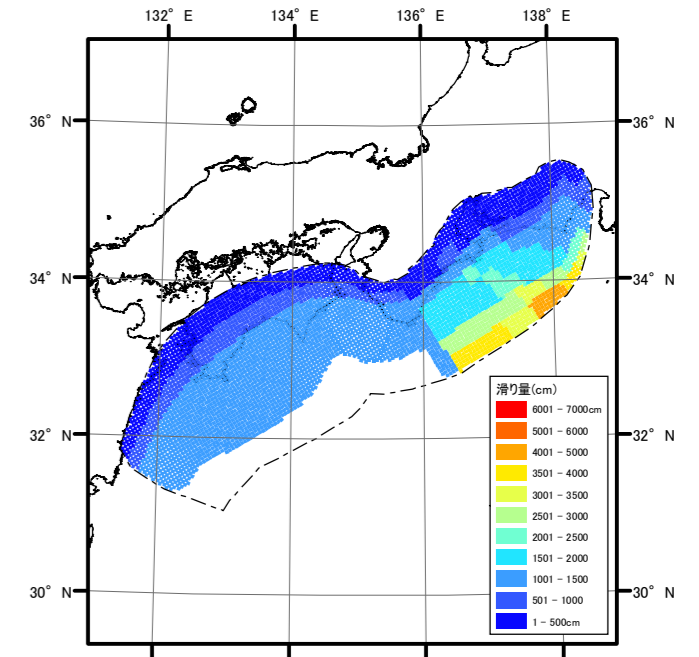


進入時最大流 [knot]



○ 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点を算出している。

断面モデル

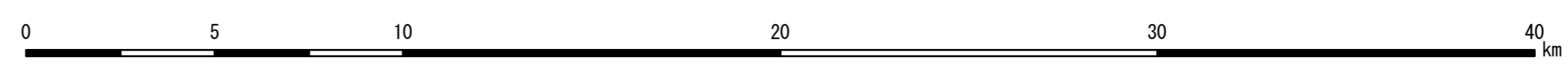


ケース①「駿河湾～紀伊半島沖に『大すべり域+超大すべり』」

断面面積 S (km <sup>2</sup> )	140,000
地震モーメント Mo (N·m)	6.1 X 10 <sup>22</sup>
平均すべり量 D (m)	10.3
モーメントマグニチュード Mw	9.1

本断面モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）（平成24年8月29日発表）」により公表されたものである。  
 使用した断面モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。  
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。  
 ・海上保安庁が保有する水深データ  
 ・基礎地図情報5mメッシュ (標高) 及び10mメッシュ (標高) (国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平24情使、第911号 平成25年3月29日)



作成機関： 海上保安庁  
 防災情報製作年度： 平成26年1月 (初版)  
 図形データ作成年月： 平成26年1月 (初版)  
 改訂： 平成26年1月 (改訂)